

米国留学レポート (3)

1 年次在籍
市原 柳奈子

アメリカでの学校生活が3か月を過ぎ、日々様々なことを楽しんでいます。なかでも印象に残っていることは、ホームカミングです。ホームカミングとは、各学校にある伝統的な行事で、学校全体で様々なことをします。私が経験したことは、Pep Rally・フットボールの試合・ダンスパーティーでした。また、ホームカミングウィークである9月最終週には、毎日着る服の「お題」があり、学校全体が盛り上がっていました。

Pep Rally というのはホームカミングに限らず行われる激励会・壮行会で、大きなスポーツの大会の前に行われます。ホームカミング以前にも参加したことはありましたが、ホームカミングの Pep Rally はとても盛大だったことを覚えています。

普段はチアリーダー、バンド（吹奏楽）、ベル（ダンス）、の人たちがアスリートたちへの応援として様々な披露をし、生徒と先生も含むアクティビティがあったりなどします。ですが、それに加え、ホームカミングの伝統であるホームカミング・キングとクイーンが生徒の中から選ばれるというイベントがあります。学校内で、各スポーツチームやクラブから代表を男女一人ずつ選び、その



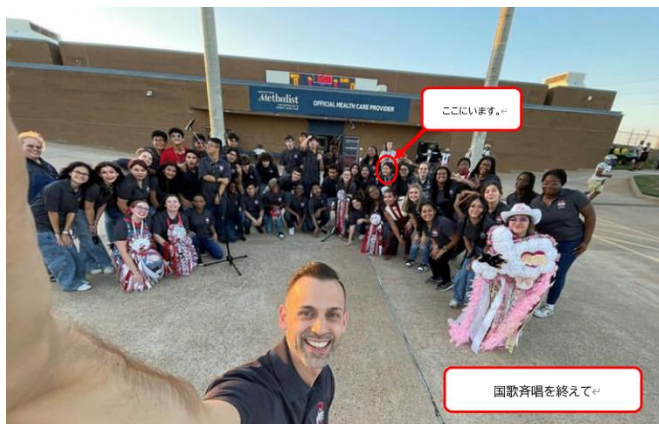
水泳チームのキング・クイーン候補です。

代表たちの中からキングとクイーンを学校全体で投票し選びます。Pep Rally の際には、得票数上位各5人（計10名）が発表されます。発表される前、各チームやクラブの代表たちはそれぞれで作ったカートとともに登場し、発表が始まります。その10人の選ばれた人になかには私が所属する水泳チームのキャプテンもいたのもものすごくワクワクしていました。Pep Rally の最後には花火も打ち上げられました。

最終的なホームカミング・キングとクイーンはその上位各5人のなかから一人ずつ投票で選ばれます。投票結果は翌日のフットボールの試合で発表されました。私にとって初めてのフットボールの試合がこのホームカミングゲームでした。私はコーラスに所属しているので、試合が始まる前に国歌をコーラスの一員として歌いました。国歌斉唱はもちろん大きなスタジアムで行ったので、いつもとは違った感覚でしたがいい経験ができました。

試合が始まると、多くの人が盛大にチームを応援していたのを覚えています。この後にも他の試合にも行ったのですが、ホームカミングの時が一番盛り上がっていたと感じていま

す。試合の途中にホームカミング・キングとクイーンの発表があるとともにチームの応援のためのバンドやチアリーダーの披露もあり、全体が盛り上がっていました。



↑ 試合観戦中

フットボールの試合の次の日にダンスパーティーがありました。私はそこまでダンスが好きなのではないですが、一つの経験として参加しました。ダンスパーティーの前に友達たちとドレスを着て一緒にディナーをとり、写真をたくさん撮るなどして楽しみました。そのあと、その友達の何人かと一緒にダンスパーティーへ行きました。

ダンスパーティーは学校で行われましたが、様々な飾りやフォトブースがあるなどいつもの学校とは全く違う空気ですごく驚きました。少しばかりダンスに参加しましたが、ほとんどの時間、友達と話したり写真を撮ったりしてパーティーの時間を過ごしました。

ホームカミングの週では毎日着るものにお題があると先述しました。具体的には、バービーの日やネオンカラーの日、“mum” (chrysanthemum の略で、キクのこと) を基にした飾りを身に着ける日などがありました。これに向け、先生も含め多くの人が本気になって準備していることがとても印象的でした。この飾りはテキサスならではのホームカミングに身に着ける伝統で、友達と“mum”を作って楽しみました。

以上のように、普段経験することのないことばかりあったので、ホームカミングは印象的な一つのイベントです。



← Mum を着用

↑ 服のお題などのお知らせ

前号でも触れたとおり、私は水泳のチームに所属しています。ウォーターポロのシーズン

が終わり、水泳のシーズンが最近本格的に始まりました。だいたい週4回、毎回2時間ほどの練習をしています。週1回の筋力トレーニングがあり、本格的なコーチが指導してくれるので、普段の泳ぐ練習もとても充実していると感じています。

まだ慣れないこととしては、日本とは違い、試合が頻繁にあることです。少なくとも1か月に1回はあり、今のところは、週1回ほどのペースであります。アメリカと日本では少しばかり種目が違う部分もあり、私は500m自由形など自分にとって新しい種目に挑戦しているためまだ慣れないことばかりですが、こちらの練習が始まってから自分自身のベストを更新し続けているので、練習を楽しんでいます。



↑初戦のあと。上位に入れました。

また、楽しかった最近の思い出としては、家族と日食（金環食）を見にキャンプへ行ったことがあげられます。ホストファミリーの家から西に300キロくらい離れた場所にあるキャンプ場の近くの川で泳いだり、たき火、ハイキングをしたりしつつ、日食を見て楽しみました。川や山は日本とはまた違った感じできれいな自然を満喫しました。夜のたき火では、家族の中で怖い話など、いろいろな話をして時間を過ごしました。



↑金環日食

翌日、少し山の方まで行き日食を見ました。一つのイベントのようで、多くの人が集まり、NASAの人が説明をしてくれたり、準備された望遠鏡で日食を観察できたりし、多くの人がこの天体ショーにワクワクしていました。



私自身今まで日食などを見る機会がなかったのですごく印象に残っています。日本にいるときは日食などにあまり親しみがなく、理科で習うだけのものだと思っていたのですが実際に見ることができてよい経験ができました。日食観察も含め、家族と多くの時間を過ごした楽しい思い出です。

←日食観察メガネを使って空を見上げました。

また、10月31日には、アメリカで初めてのハロウィンも経験しました。主に9月の終わりごろからハロウィンのシーズンになると、先生にもよりますが、教室がハロウィン風に飾りつけされたり、学校でハロウィンという理由でお菓子をもらったりすることも少なくありません。また、ハロウィンに関係する催し物が多くあります。

私は、コーラスのクラスでの fall concert で歌を披露したり、fall festival などやホストシスターの学校で開催されたお祭りにも彼女と参加したりして楽しみました。ハロウィン当日は、家に帰るとホストファミリーとスターウォーズのテーマ曲に合わせてコスチュームを着て近所を歩きました。私のすぐ近所の住宅地はトリック・オア・トリートをやっていないということだったので、少し離れた地区へ行き町を歩きました。電灯のついている家をまわりたくさんのお菓子をもらうことができました。各家を見ていると様々なハロウィンのデコレーションでにぎわっていたのが印象に残っています。



↑ Fall concert の様子



↑ コンサート前



↑ かぼちゃを彫りました



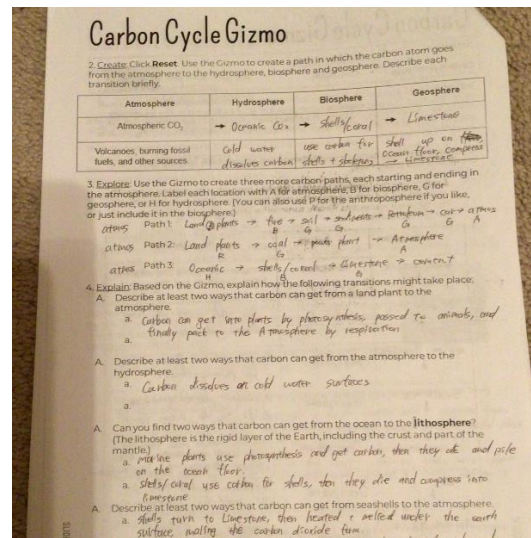
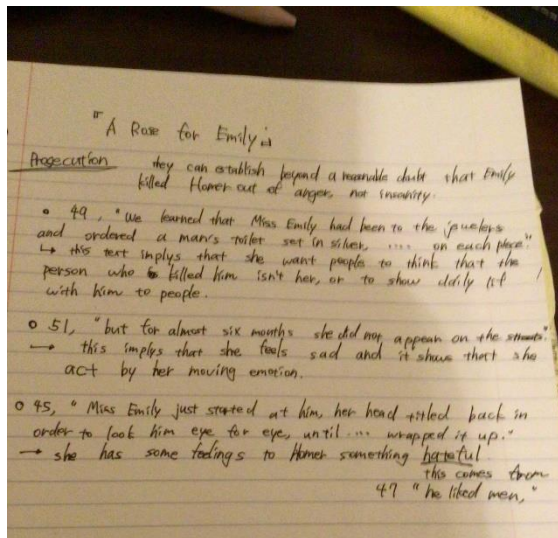
↑ かぼちゃを買いに行った pumpkin patch にて



↑ 仮装して、トリック・オア・トリート

学校生活にもずいぶん慣れてきました。選択する授業によって変わってくるとは思いますが、私の授業のほとんどは、発言する機会が意外に少ないと感じています。その点では日本とよく似ていると思います。代わりに、様々なプロジェクトが課題として出されます。

ポスターを作るものやリサーチが必要なもの、プレゼンテーションが課されるものなどです。周りの多くの人にはプロジェクトが嫌いだと感じますが、日本では経験できないことなので、私はかなりそれを楽しんでいます。



↑ 課題の様子です。↑

日本語のクラスにも模擬国連にも引き続き参加しています。日本語のクラスでは、日本のアニメの話をしたり日本語会話の練習相手になったりして楽しんでいます。また、模擬国連では大会に向け、各自の国やテーマが決まり着々と進んでいっています。それらは本格的に始まってきたばかりなので何とも言えませんが大会に向けて自分にできることを頑張ろうと思っています。

11月もう終わり、12月へとクリスマスのシーズンに入りました。その前、11月の終わりごろには thanksgiving (感謝祭) があり、1週間ほどの休みがありました。私は家族とフロリダ州オーランドにあるユニバーサル・スタジオでその1週間を過ごしました。普段なら伝統的な料理を食べるなど家で過ごすことが多いそうですが、私も家族もハリーポッターシリーズをはじめ、様々な映画が好きなので今回はユニバーサル・スタジオで家族の時間を過ごしました。

その長い休みの最終日は家でんびり過ごしました。クリスマスに向けての家のデコレーションを始めたり、感謝祭の伝統的な料理を食べたりするなどもしました。クリスマスツリーを準備しましたが、やはり日本とは少し違うものなのだと実感しました。ツリーは本物の木ではないのですが、ツリーのためのオーナメントは旅行先で得たものや家族の写真が入ったものなど様々な思い出をツリーに乗せていることが印象的だと感じています。

今まで留学生活をしてきて、楽しいことを数多くしてきている中、多くの文化の違いや価値観の違いを感じています。一番大きいと思うことは学校で、宿題の量や取り組み方の違い、授業形態の違い、テストの重要さの違いに気づかされます。また、日本のような勉強中心の学校生活というよりも、バランスよくスポーツにも力が入れているということもあげ

られます。それらに驚きながらもものすごく楽しんでいます。まだ慣れないことも多くあるので、慣れるためにも今後も人とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。



↑ホームステイ先から車で1400キロ。フロリダ州オーランドで感謝祭の休みを過ごしました。↑